

# 小学校第5学年 社会科学学習指導案

## 1 単元名 世界とつながる自動車

## 2 単元について

### (1) 教材観

本単元は、学習指導要領第5学年2内容(2)「我が国の工業生産について、工業生産に従事している人々の工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸の働きについて、調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えるようにする。」にかかわる単元である。本単元のねらいは、貿易による世界各国との結びつきについて調べ、その特色や問題をとらえることから、貿易の進め方について考えをもつことができるようにすることである。

### (2) 児童観

児童は、前単元「食料生産を支える人々」の学習では、米づくりの盛んな地域を取り上げて、米づくりの過程や米づくりに対する思いや願いなどについて、資料から問題を発見したり事実を読み取ったりしながら自分の考えをもつとともに、これからの稲作についてどうすればよいか自分の考えをまとめる学習を行ってきた。

本単元に入る前に、資料から事実を読み取る活動に関わる実態と自分考えをまとめる活動に関わる実態について調査を行った。その結果、次のことが明らかとなった。

ア グラフの読み取りについては、縦軸や横軸、タイトルをとらえることはできるが、「一番大きく増えている」という、ある部分に着目してグラフを読み取る技能が身に付いていない児童が学級全体の約3分の1いること

イ 自分の考えと比べながら聞いている児童が9割以上いる反面、社会科の学習に意欲的でなかったり、自分の考えに自信がもてなかったり、自分の考えと比べて聞くことの大切さを感じていなかったりしている児童がいること

ウ 学習のまとめを書くときに、自分の考えを書くことに対して、6名の児童が行っていなかったこと

### (3) 指導観

本単元においては、地球儀の使い方を覚えることが求められていることから、1単位時間を取って、グループごとに距離や方位を実際に調べる活動を設定して、地球儀に関心をもたせるようにしたい。また、資料の正確な読み取りが学習のねらいを達成するための鍵となることから、統計資料（特に円グラフや帯グラフ、分布図）の読み取りに十分時間をかけながら、事実を読み取らせるように進めていきたい。また、学習問題の解決には、「予想する」活動も児童の追究活動には大切であることから、「予想する」活動では、ナビカードを活用しながら「予想の立て方」を指導しながら、予想を立てるための技能を身に付けさせたい。

追究する段階では、調べたことを基に考えたことをグループで交流させながら、さらに自分の考えを深めさせるような話し合い活動を取り入れた指導を行っていきたい。

まとめる段階においては、学習内容を整理するとともに、ナビカードを使って、資料活用にかかわる学び方を振り返り、単元の学習を通じて学んだ資料活用の方法を、次の学習に生かすことができるように進めていきたい。

### 3 単元の目標

日本と世界各国との貿易による結びつきについて調べ、日本の貿易の特色や問題をとらえ、これからの貿易の在り方について考えを深める。

#### 【社会的事象への関心・意欲・態度】

自動車の輸出の様子から、日本の貿易について関心を持ち、進んで調べようとしている。

#### 【社会的な思考・判断】

日本の自動車が世界各国で生産されるようになった理由を、世界との協力という視点で考えることができる。また、日本の貿易が抱える諸問題に気づき、これからの貿易の在り方について考えをもつことができる。

#### 【観察・資料活用の技能・表現】

日本の輸出入の移り変わりや貿易相手国を、地図や統計資料から読み取ることができる。

#### 【社会的事象についての知識・理解】

日本の貿易の特色や主な貿易相手国が分かり、日本と世界は貿易をとおして深く結びついていることをとらえることができる。

### 4 単元の指導計画と評価規準

#### (1) 単元の指導計画

段階	ねらい	時間	学習活動と内容	ナビカードの活用の仕方
つかむ	世界地図や地球儀を使って、日本からさまざまな国の距離・方位を調べることができる	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本から見たアメリカ合衆国やその他の国々の方位や世界の主要都市までの距離を、地図や地球儀で調べる</li> <li>地図や地球儀の特徴をまとめる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 資料の読み取り方についての学び方を学ぶナビカード</li> <li>単元の導入の場面で、基本的な資料の読み取りを指導(または確認)する際に、ナビカード や - 2 を活用する。また、地図帳と地球儀の使い方を指導する際には、裏面に示した視点を基に、実際に、地名探しをしたり、郷里や方位を調べたりする活動を取り入れる</li> <li>学習問題を発見する場面では、ナビカード - 2 の裏面に示した視点を基に、児童が学習問題を発見できるようにする</li> </ul>
	日本の自動車の輸出がどのように行われているか調べ、日本の貿易にかかわる問題点をつかむことができるようにする	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の自動車の輸出は、どのように行われているか</li> <li>日本の貿易にかかわる問題点は何か</li> <li>学習問題を設定する 予想される学習問題</li> <li>日本の自動車が外国で生産している理由は何か</li> <li>日本の貿易の特色をまとめよう</li> </ul>	
追	日本の貿易にかかわる学習問題について予想を基に調べ、自分の考えをまとめることができるようにする	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の自動車を外国で生産の様子を次の観点で調べたり、考えをまとめたりする(観点) 日本の自動車が外国で生産されているわけを調べる</li> <li>日本の自動車が、海外のどこでどのように生産されているか調べる</li> <li>これからの自動車生産の進め方について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2 資料を基に自分の考えをまとめる方法についての学び方を学ぶナビカード</li> <li>学習問題を追究する場面で、ナビカード - 1 及び - 2 を活用して、予想の立て方や資料収集の方法、資料の比較</li> <li>検討の方法を単位時間の導入</li> </ul>

る		<p>考える</p> <p>日本の輸出入品の特色を次の観点で調べたり、考えをまとめたりする</p> <p>(観点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本では、どんな物を輸出しているか、またその移り変わりについて調べる</li> <li>・日本の輸出入品の特色について考える</li> </ul>	<p>時に指導する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えをまとめる場面では、ナビカード - 3を活用して、自分の考えを発表原稿にまとめさせる。さらに、裏面を使って、友達の考えを参考にしながらまとめさせる</li> </ul>
まとめると考えるにする	<p>日本の貿易に特色や問題をまとめることを通じて、これからの貿易の進め方について考えをもつことができるようになる</p>	2 <ul style="list-style-type: none"> <li>・輸出入品はどのように運ばれているのか調べる</li> <li>・日本の貿易の特色や問題点について考える</li> <li>・これからの日本の貿易の進め方について考える</li> <li>・日本の自動車は外国で生産している理由は何か</li> </ul> <p>資料活用にかかわる学び方をまとめる</p>	3 <p>資料活用にかかわる学び方を振り返るナビカード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元のまとめの後に、ナビカードを活用して、資料活用にかかわる学び方をチェック項目や記述に従って振り返らせる。指導者はカードを集計したり、記述内容を分析したりして、次単元の指導に活かす</li> </ul>

(2) 評価規準

時間	ねらい	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
1	世界地図や地球儀を使って、日本からさまざまな国の距離・方位を調べることができる			地球儀を使って、世界各国の位置や方位を調べることができる	地図と地球儀の違いやそれぞれの特徴をとらえることができる
2	日本の自動車の輸出がどのように行われているか調べ、日本の貿易にかかわる問題点をつかむことができるようになる	自動車の輸出の様子から、日本の貿易について関心をもち、学習問題を考えようとしている		日本の自動車の輸出の様子を、資料を基に作図することができる	
3・4	日本の貿易にかかわる学習問題について予想を基に調べ、自分の考えをまとめることができるようになる		工業生産には貿易や運輸が大切な役割を果たしていることを考えることができる	日本の輸出入の移り変わりや貿易相手国を、地図や統計資料から読み取ることができる	日本の貿易の特色や主な貿易相手国が分かり、日本と世界は貿易をとおして深く結びついていることをとらえることができる
5・6	日本の貿易の特色や問題をまとめることを通じて、これからの貿易の進め方について考えをもつことができるようになる		日本の貿易が抱える諸問題に気づき、これからの貿易の在り方について、自分の考えをもつことができる	地図や統計資料を活用して、日本の貿易の特色や問題点について分かりやすく文章にまとめることができる	

【世界とつながる自動車】展開案（１／６）

(1) ねらい

世界地図や地球儀を使って、日本からさまざまな国の距離・方位を調べることができるようにする。

(2) 展開

段階	学習活動と主な発問	指導上の留意点	主な資料
つかむ	<p>1 日本の自動車の輸出はどのように行われているか調べる。</p> <p>2 学習課題をたてる。</p>	<p>・教科書や資料集の統計や写真、文書資料をもとに、自動車の運び方やどこへ運んでいるかについて調べ、学習課題の設定に結びつける。</p>	<p>・日本の自動車の主な輸出先にかかわる資料</p>
	<p>地図や地球儀を使って、世界の国々位置や、日本からの距離・方位を調べてみよう。</p>		
追究する	<p>3 自動車が出ている国々の方位や距離を地図や地球儀を使って調べる。</p> <p>4 地図と地球儀の特徴をまとめる。</p>	<p>・アメリカ合衆国のシアトルを例にして方位や距離の調べ方を確認する。（グループ活動）</p> <p>・球面を平面に表した地図には、歪みが生じることをとらえさせる。</p> <p>・地図と地球儀を比較できるように、表にまとめるようにする。</p>	<p>・地球儀</p> <p>・世界地図</p> <p>・ナビカード</p>
まとめる	<p>5 学習の振り返りをする。</p> <p>6 次の学習内容を知る。</p>	<p>・地球儀と地図の特徴について、児童の言葉でまとめさせる。</p> <p>・日本の自動車の輸出の様子について調べていくことを知らせる。</p>	<p>・ナビカード</p>

【世界とつながる自動車】展開案（2 / 6）

(1) ねらい

日本の自動車の輸出がどのように行われているか調べ、日本の貿易の特色を明らかにするための学習課題を立てることができるようにするとともに、課題を解決するための学習計画を立てることができるようにする。

(2) 展開

段階	学習活動と主な発問	指導上の留意点	主な資料
つかむ・追究する	1 日本の自動車の輸出はどのように行われているか調べる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車の輸出と海外での自動車の生産の移り変わりをグラフに表す活動を取り入れる。</li> <li>・海外での生産台数が増加していることに気づかせる。</li> <li>・日本の自動車がこの国で生産されているかをとらえさせる。</li> <li>・アメリカ合衆国やカナダの生産台数が多いことに気づかせる。</li> <li>・海外生産が増えた理由や他の工業製品様子など、児童から出された疑問をもとに、日本の貿易の特色を明らかにする学習テーマと学習課題を立てる。</li> <li>・問題発見の方法について、ナビカードをもとに理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の自動車生産にかかわる統計資料</li> <li>・ナビカード</li> <li>・日本の自動車生産台数と輸出台数の変化を表したグラフ</li> <li>・海外で生産している台数を表した資料</li> <li>・ナビカード</li> </ul>
	2 日本の自動車がこの国で生産されているか調べる。		
	3 1と2の資料から読み取ったことをもとに、学級全体の学習テーマと学習課題を立てる。		
	4 学習テーマを立てる。		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">(テーマ) 日本の貿易のひみつをさぐる</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">(課題) ・なぜ、海外での生産が多くなっているのか。 ・他の工業製品の輸出や輸入は、どうなっているのか。 ・日本の貿易の特徴や問題点は何か。</div>		
5 学習計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ナビカードを活用しながら、課題解決までの見通しをもたせるようにする。</li> </ul>		
まとめる	6 学習の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の自動車の輸出の変化をもとに、学習課題の立て方についてまとめる。</li> <li>・学習課題を解決していくことを知らせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ナビカード</li> </ul>
	7 次時の学習内容を知る。		

【世界とつながる自動車】展開案（3 / 6）

(1) ねらい

日本の自動車の海外での生産の様子を調べ、海外生産が増えた理由を輸出を抑えることや生産している国の産業を発展させていることなど、日本と外国との結びつきをよいものにする目的で海外での生産が増えていることを考えることができるようにする。

(2) 展開

段階	学習活動と主な発問	指導上の留意点	主な資料
つかむ	1 学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">なぜ、日本の自動車の海外生産が増えているのだろう</div>		・日本の自動車生産にかかわる統計資料
追究する	2 日本の自動車が海外で生産されるのが多くなってきた理由について、予想を立てる。 3 日本の自動車が海外で生産されるのが多くなってきた理由を調べる。 4 海外生産が増えた理由について自分の考えをもつ。 5 自分の考えを発表し合い、自分の考えを深める。	・前時に使った資料をもとに、予想を立てるようにさせる。 ・海外生産が増えた理由を輸出を抑えることや生産している国の産業を発展させていることなど、日本と外国との結びつきをよいものにする目的で海外での生産が増えていることをとらえさせる。 ・資料を基に自分の考えをもつ方法を示したナビカードを参考にして、自力で自分の考えをまとめられるようにする。 ・自分の考えと友達のことを比べながら、自分の考えをまとめる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">-----ナビカードの活用----- (1)自分の考えを書く (2)グループで発表し合う (3)全体での話し合い (2)や(3)で参考となる考えを書き込む</div>	・ナビカード ・日本の自動車生産台数と輸出台数の変化を表したグラフ ・海外で生産している台数を表した資料
まとめる	6 学習の振り返りをする。 7 次時の学習内容を知る	・海外生産が増えた理由について学級全体でまとめる。 ・複数の資料の比べ方について、児童個々に振り返る。 ・海外生産で特に、北米（アメリカ合衆国やカナダ）が多い理由を調べていくことを知らせる。	・ナビカード

【世界とつながる自動車】展開案（４／６）

(1) ねらい

日本では、どのような物が輸出入されているから調べることができるとともに、輸出入品の特徴について自分の考えをもつことができるようにする。

(2) 展開

段階	学習活動と主な発問	指導上の留意点	主な資料
つかむ	1 学習課題を確認する。  他の工業製品の輸出や輸入は、どうなっているのだろう		・
追究する	2 他の工業製品の輸出入について、予想を立てる。 3 他の工業製品の輸出入について調べる。 4 他の工業製品の輸出入のようすについて自分の考えをもつ。 5 自分の考えを発表し合い、自分の考えを深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自動車の輸出や食料の輸入のようすを振り返りながら、予想を立てるようにさせる。</li> <li>・ 日本の輸出入品の移り変わりを示したグラフをもとに、輸出入品についての変化を読み取るようにする</li> <li>・ グラフの読み取りが困難な児童に対しては、ナビカード を活用しながら、読み取るときのポイントを振り返らせるようにする。</li> <li>機械類の輸入が多くなっている 20年前も今も機械類や自動車の輸出が多い。 全体の輸出入額が増えている。</li> <li>・ 前時の学習での自分の考えのもち方やナビカードを参考にしながら、自分の考えをもたせる。</li> <li>・ 自分の考えと友達の考えを比べながら、自分の考えをまとめる。</li> <li>燃料や原料を輸入して、工業製品を輸出している アメリカ合衆国が貿易の一番の相手だが、アジアの国々も貿易が盛んになってきている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ナビカード</li> <li>・ 輸出入相手先とその品目や額を示したグラフ及び表</li> <li>・ ナビカード</li> </ul>
まとめる	6 学習の振り返りをする。 7 次時の学習内容を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本の輸出入品についてまとめる。</li> <li>・ 自分の考えのもち方について、児童個々に振り返る。</li> <li>・ 日本の貿易の特色や問題点について調べていくことを知らせる。</li> </ul>	・ ナビカード

【世界とつながる自動車】展開案（５・６／６）

(1) ねらい

日本の貿易の特色や問題点をまとめ、これからの貿易の進め方について自分の考えをもつことができるようにするとともに、自分の考えをまとめる方法を身につけることができるようにする。

(2) 展開

段階	学習活動と主な発問	指導上の留意点	主な資料
つかむ	1 学習課題を確認する。  日本の貿易の特徴や問題点を見つけよう		・ナビカード
追究する	2 輸出入品は、どのように運ばれているか前時までの学習をもとに予想を立てながら調べる。  3 貿易額の変化の資料をもとに日本の貿易の特色や問題点を考える。  4 これからの貿易の進め方について自分の考えをもち、グループごとに話し合う。  5 話し合いをもとに、自分の考えを修正し、考えをまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食料生産の学習を振り返ったり、自動車の輸出の様子をもとにしたりしながら、予想を立てるようにさせる。</li> <li>・輸出入品の流通について、船や飛行機で運ばれる品物の資料を提示して品物を運ぶ運輸の働きを中心にとらえさせる</li> <li>・加工貿易や逆輸入という用語を説明する。</li> <li>・農業単元や自動車の輸出について学習したことを振り返らせながら、貿易の不均衡や食料の輸入依存等問題点をおさえ、これからの貿易という学習に結びつけるようにする</li> </ul> <p>----- ナビカード の活用 -----</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)自分の考えを書く</li> <li>(2)グループで発表し合う</li> <li>(3)参考となる考えを書き込む</li> <li>(4)自分の考えを修正する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・船や飛行機で品物が運ばれている様子を表した写真</li> <li>・日本の貿易額の変化のグラフ</li> <li>・日本の主な輸出入品の変化を表したグラフ</li> <li>・ナビカード</li> </ul>
まとめる	5 学習の振り返りをする。  6 次時の学習内容を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の貿易の特徴や問題点について学級全体でまとめる。</li> <li>・資料活用にかかわる学び方を振り返る。</li> <li>・身の回りの工業製品を調べ、日本の工業の種類や特色について考えていくことを知らせる。</li> </ul>	・ナビカード